

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成30年7月6日（木）午後7時～午後8時15分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：安島てつや、峰岸喬、大槻千聡、建部直哉、南葉子、高橋幸子、 小島晴幸、諸橋泰樹、百瀬佑子、深松加絵 (事務局) 市長、協働推進部長、協働推進課長、協働推進課係長、 協働推進課主事 (オブザーバー) 株式会社エス・アール・シー
委員の委嘱等	1 委嘱書の交付 2 市長のあいさつ 3 委員の自己紹介
報 告 事 項	1 男女共同参画推進市民委員会について 2 武蔵村山市第三次男女共同参画計画について 3 武蔵村山市第三次男女共同参画計画の進捗状況について 4 現計画策定後の社会の状況について
議 題	1 委員長及び副委員長の選任について 2 会議の公開に関する運営要領の制定について 3 私の考える男女共同参画とは 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 委員長及び副委員長の選任について 委員長は峰岸委員、副委員長は諸橋委員とする。  議題2 会議の公開に関する運営要領の制定について 事務局案を承認する。  議題3 私の考える男女共同参画とは 委員の自己紹介も兼ねて、委員が考えている男女共同参画について語った。会議を通して色々な意見を参考にしたい、男女共同参画について勉強していきたいという意見が出た。  議題4 その他 第2回会議は平成30年8月27日（月）午後7時から開催するものとし、第3回会議は平成30年10月26日（金）午後7時から開催する予定。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発信者) ◎印：委員長 ○印：副委員長 ●印：委員 □印：事務局	委員の委嘱等について 1 委嘱書の交付 2 市長のあいさつ 3 委員の自己紹介  報告事項 1 男女共同参画推進市民委員会について  -事務局から説明- -質疑等なし-

2 武蔵村山市第三次男女共同参画計画について

-事務局から説明-

-質疑等なし-

3 武蔵村山市第三次男女共同参画計画の進捗状況について

-事務局から説明-

-質疑等なし-

4 現計画策定後の社会の状況について

-事務局から説明-

-質疑等なし-

議題1 委員長及び副委員長の選任について

議題1を御協議いただきたい。委員長、副委員長の選任について、意見はあるか。

事務局に一任する。

委員長を峰岸委員、副委員長を諸橋委員にお願いしたい。

- 異議なし -

委員長を峰岸委員、副委員長を諸橋委員に決定する。  
ここからは、委員長に進行をお願いします。

議題2 会議の公開に関する運営要領の制定について

-事務局から説明-

要領について、以前から施行されているものか。今回初めてか。

元々、会議については公開が原則であり、会議録についても公表する。運営要領についてはこの会議限りの形になる。

傍聴するからには事前に会議日も市民に知らされるのか。

知らせる。

今まで傍聴するものはいなかったか。

前回の会議の時に1人いた。

公開する意味がある。

- 異議なし -

議題3 私の考える男女共同参画とは

自己紹介も兼ねて、2、3分でお願いしたい。

- 前回から委員を継続している。女性の多い職場で、男性の方が少ないが、女性と男性の差は特にない。仕事の功績によって評価される職場である。女性が出産等で職場を離れても、成績が良い者は職場から戻ってきてほしいと頼まれる。この委員会において話したことを職場にも伝え、少しずつ広げていきたい。
- 分からないことが色々あるので、頑張って勉強していきたい。
- 病院に勤めている。病院は、職種によって性別の割合が異なる。医師は男性が多く、女性医師が働きやすい職場環境を目指しているが、管理職は男性が多いというイメージである。女性は、出産、子育てのために休暇を取得するため、20代後半から30代半ばにかけて就業率が下がっているのだろう。こうした会議に参加するのは初めてであり、勉強しながら、皆様とやっていきたい。
- 第三次男女共同参画計画に基づき、講座、展示等を実施している。男女共同参画社会についてあまり意識していない人の考えを知り、事業に織り込んでいきたい。委員の皆さんの男女共同参画に関する意見や考え等を聞いていきたいと思っている。
- 男女共同参画については言葉を耳にしたことがある程度である。日ごろ、学童クラブや放課後子ども教室で子ども達の見守り活動をしており、性別ではなく、大人と子どもの区別について意識してきた。これから勉強させていただきたい。
- スーパーに勤めている。小売業は比較的女性が多い職場で、結婚や出産を機に能力のある女性が退職することが多い状況である。現在は、介護も含めた両立支援制度を拡充して、家庭と仕事の両立を進めている。皆様の意見を参考にさせていただき、会社の施策に取り入れていきたい。
- 男女共同参画についての知識はないが、祖父母の、家の中では父や長男が一番という考えの下育ってきた。中学生くらいの時に男女は平等ではないと感じていた。学校でこの委員会のお話をいただき、そういう環境があったので、すごく参加したいと思い、ここに来た。
- 大学では女生徒が多く、実力で判断される環境なので、男女のどちらが有利か考えたことはなかったが、将来のことを考えると、女性でも働きやすい環境があったらいいと思うようになり、この会議に参加した。
- ◎ 市内で自営業をしている。日ごろ、女子力が高いと言われるが、女子力とは何だろうか。性別に関係なく、人に対して気配りすることは、一個人として常に心掛けている。様々なことがカテゴライズされている中で、差別を無くし、フラットにしていくことが、自分にとっての男女共同参画であると捉えている。  
前回、委員会に参加した際は、LGBT等について勉強になった。それから、社会の流れが急速に変わっていく中で、アンテナを高くして情報収集を行うことができ、自分なりに解釈し発信している。今回は、市民委員が策定に携わりひとつの成果物を作っていくという大きな目標がある。硬くやらず、柔らかく、有意義な会議にしていきたい。
- 委員長がカテゴリー化について言及された。カテゴリーというのは、客観的な指標ではなくて、人の都合で作ったもの。女、男というのは二分法、ディコトミーと言うが、野蛮な分け方である。2つでも3つでもなく、虹のように無限の色がある。血液型や人種など、2つに分けるという単純な分け方をしてしまうのは、人間の性だろう。でも、実は簡単に分けられないということを、我々は耐え、その上でどう生きていくのか考えることが、私達、知恵のある者の仕事だろうと思う。以前、カテ

	<p>ゴリー化が作り出す差別は、意識の問題であり、一人ひとりの心の持ちようだと思っていた。けれど、差別は社会的なものであり、社会が差別を作っていると分かった。DV やセクシャルハラスメントなども、社会的なものであり、社会的解決が可能である。そこで、行政の仕事が出てくる。そんな風に考えている。我々が作りだしている社会は、我々で解決していくしかない。皆さんと一緒に新しい成果物、行動計画を作っていきたいと思う。</p> <p>議題4 その他</p> <p>-事務局から次回の会議日程について説明-</p> <p>◎委員、事務局の都合を考慮し、第2回は8月27日(月)午後7時、第3回は10月26日(金)午後7時開催することでよいか。</p> <p>- 異議なし -</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 <span style="float: right;">傍聴者： _____ 0 人</span></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">[ ]</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等： _____ )</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等： _____ )</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>協働推進部 協働推進課 (内線： 242 )</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)